獣の宿（1951）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 86分
初公開日 1951/06/08

【解説】
　藤原審爾の小説『湖上の薔薇』を「白痴」の黒澤明が脚色し「黒い花」の大曾根辰夫が監督した。欲望のおもむくままに生きる野獣のような男を、鶴田浩二が熱演している。
　人を殺して逃げてきた健という男が、湖畔のホテルに転がり込んできた。かつてはドスの弥造という異名を持っていた支配人の弥造は健を受け入れるが、健は毎日ウィスキーを飲んだくれたあげく、弥造の孫娘の由紀に目をつけ始めた。弟分の次郎が健の身代わりに命を落としたと、その愛人ユリが知らせに来た。だが健はユリを犯してしまい、犯されたユリは湖で投身自殺を図るのだった。

【クレジット】
監督 大曾根辰夫
製作 小倉浩一郎
原作 藤原審爾
脚本 黒澤明　Akira Kurosawa
撮影 片岡清
音楽 加藤光雄
出演 鶴田浩二
岸恵子
志村喬
小林トシ子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.